

2015/2

No.18

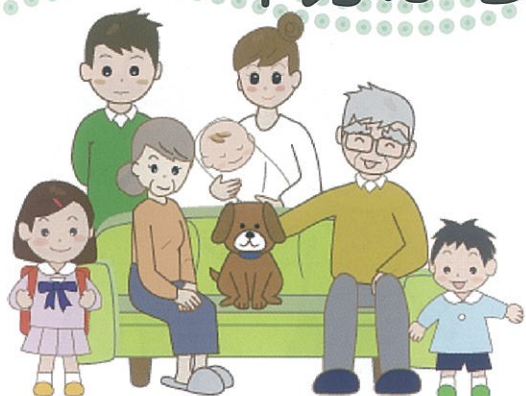


医療法人 成精会

刈谷病院

Harmo-net
ハ〜モネット

「分かちあい」について



理事長 平野 千晶



立春も過ぎてから昨年の話で恐縮ですが、2014年の流行語大賞は、日本エレキテル連合の「ダメよ〜ダメダメ」と安倍首相の「集団的自衛権」でした。今年は、どんな言葉が流行するのでしょうか。

私は、本年、「分かちあい」という言葉を大切にしたいと思っています。分かちあうことと、分けあうことは、本来は同じ言葉です。けれど、「喜びを分かちあう」とか、「困難を分かちあう」などと言うように、貴重なこと重大なことを分けあう時に、使われているように思います。「盗賊が盗んだものを分かちあう」とか、「野獣が獲物を分かちあう」とは、ふつう言いませんよね。

私の推測なのですが、「ワカチアウ」という音の響きが、「気持ちを分けあう」という連想を起こして、特別なことに対して使われるようになったのではないかと思います。

分かちあうことは、利益を分配したり、業務を分担することは違います。分配や分担では気持ちを分けあうことはできません。数値に現れるプラスとマイナスを、計算通りに分けているだけです。喜びを皆で分かちあえば、喜びは何倍にも膨らみます。苦しみを分かちあえば、苦しみの中からでも力が生まれてきます。数値だけにこだわって、気持ちを分けあうことを大切にしないしていると、利益を奪いあい、負担を押しつけあう気持ちが生まれてきます。

「自分の中にあるものをお互いに差し出し、同時に差し出されたものをお互いに受け入れること」を、ラテン語で「コムニカチオ」と言い、これが「コミュニケーション」の語源だそうです。コミュニケーションは、分かちあいです。情報技術がどれだけ発達しても、単なる情報の分配では本当に豊かな社会は生まれてきません。

ですから、病気や障がいの痛み・苦しみを分かちあう

ことは、当事者やその家族だけでなくこの地域で暮らす全ての人にとって大きな意味があります。このような「分かちあい」によって「癒し」や「連帯」や「活力」が生まれてきます。それらが広がっていけば、私たちの社会が心から豊かになっていくと思います。良い思いも悪い思いも、皆で出しあって分かちあって、コミュニケーション豊かな地域社会を創っていきたいと思います。

ゆたかな心、こまやかな関わり、最新の医療

当院の理念

- 1 患者さんに差別のない目、ゆとりのある態度で接すること
- 2 患者さんに、患者さんの立場にたった思いやりのある態度で接すること
- 3 従来の自分たちの治療に満足せず、常に新しい医療に目を向け、より良い治療を目指すこと

当院の基本方針

- 1 病気と治療、障害と支援に対する説明と意思決定のもとに医療と福祉を実践します
- 2 精神科救急に積極的に取り組みます
- 3 精神科リハビリテーションに積極的に取り組みます
- 4 障害者の地域生活支援に積極的に取り組みます
- 5 地域の医療機関、行政、福祉施設をはじめ、すべての社会資源との連携に積極的に取り組みます
- 6 精神保健医療福祉についての啓蒙活動に積極的に取り組みます
- 7 職員の研修と研鑽に積極的に取り組みます
- 8 安心、安全な医療福祉環境作り積極的に取り組みます

「統合失調症家族教室」

当院の統合失調症家族教室は、家族支援を通し患者さんを支援する目的で平成11年にスタートしました。1年間に3クール開催し、現在までに41クールを実施してきました。ご家族の参加数は1クール7～8家族を募集しています。

プログラム内容は、隔週土曜日で5回の講義を1クールとしています。時間は13時30分～16時。医師、作業療法士、看護師、精神保健福祉士が講義を行い、講義終了後に質疑応答やディスカッションを行ないます。

第1回目は「病気について」。医師による講義を行ないます。この回では、ご家族が病気の性質や経過を理解し、正確な情報を得て、いたずらに過大な心配をしないようにしていただくことを目的としています。

第2回目は「治療について」。医師と作業療法士の2名で講義を行ないます。統合失調症の治療は、薬物療法、精神療法、リハビリテーションなどさまざまな方法が組み合わさって成り立っています。これらの治療と共に、環境の調整が患者さんの病状安定のために重要な役割を果たします。

第3回目は「家族の関わり方」。看護師による講義を行ないます。ご家族の患者さんへの関わり方の良し悪しは、統合失調症の病気の経過に影響を与えます。病気の時期に応じた関わり方や再発を防ぐためにはどうしたらいいかなど、ご家族と一緒に考えていきます。

第4回目は「ディスカッション」を行ないます。テーマにそって、ご家族同士で率直な思いや体験談を話していただき、ご家族の関わり方の振り返りや、関わり方のヒントをみつけていただけたらと考えています。そして同じ病気を持つ家族同士が交流し、横のつながりを作る機会となることを願っています。

第5回目は「社会参加に向けて」。当院と刈谷市障害者支援センターの精神保健福祉士2名で講義を行ないます。病気の症状と障害を抱えながら地域で暮らすためには、生活を支えていくためのさまざまな手立てが必要になります。その手立てについて、ご紹介をしています。

これまで多くのご家族が統合失調症家族教室に参加され、病気や治療、リハビリテーション、関わり方、社会資源などについて学んでいただいたと思います。しかし、私たち病院スタッフもご家族からのお話をうかがうことで、多くのことを学ばせていただき、成長し治療につなげることができています。これからも多くのご家族の参加をお待ちしておりますので、お気軽に病院スタッフへ声をかけていただきますよう、よろしくお願い致します。



地域支援事業部 ボランティア推進室紹介

地域支援事業部は平成25年4月より当法人の一事業所としてスタートしました。その中でボランティア推進室は地域に向けた健康発信ができる部署として、地域との交流窓口の役割を担っています。

当法人は一般市民の方々、近隣の方々にも親しみやすい精神科を目指し、その活動が精神障害者理解につながるように「あったかハートまつり」を毎年開催してきました。その中で関係諸機関やトヨタ系企業、地区長や民生委員の方々など多大なる地域の方々のご協力をいただけてきました。地域への恩返しのお気持ちも込めて、ボランティア推進室としては地域に向けた以下の取り組みを行っています。

- 1) 地域でのボランティア活動への職員参加の啓発、エコ活動の推進
- 2) 地域の福祉イベントへの参加・協力
- 3) こころの病気についての出前講座
- 4) 職場体験をしたい小中学生の受け入れ

法人内で「かりポン」というポイントカードを作成し、職員のボランティア活動への参加、エコの推進を図っています。具体的な活動としては、病院周辺の道路清掃や小中学生の登校の見守りなどを平成25年4月より実施し、刈谷市土木課の「クリーンサポート刈谷」に団体登録されました。またエコキャップや使用済み切手、バザー用品の回収なども地域の関連機関と協力して行っています。



地域の福祉イベントでは企業の行う福祉フェスティバルに研修ボランティアを派遣、刈谷市福祉・健康フェスティバルにも昨年の10月に初参加させていただきました。刈谷市の市民協働課が刈谷市民ボランティア活動センターと協働して実施している「つむぎ場」での他のボランティア団体との交流や、将来の刈谷市の地域コーディネーター育成を目指す「つなぎ人・実践編」講座などへの派遣も行っています。

また地域からの依頼があった場合の出前講座の窓口として、現在は愛知県社会福祉協議会の日常生活自立支援事業の担当者の研修会企画に入っています。職員だけでなく、当事者がシンポジウムや看護大学などで体験談を語ることも、より障害者理解を深めることにつながると思います。

当法人ではリハビリテーションや治療内容充実のために様々な外部からのボランティアも募集しています。

- 1) リハビリテーション活動のボランティア

現在も音楽療法士などのボランティアが活動中です。当事者の生活が豊かになるような手芸や料理など幅広い形で生活支援ができる方大歓迎です。

- 2) あったかハートまつりのボランティア

第10回あったかハートまつりの開催が平成27年

6月7日(日)に決定しました。今年も様々な立場からのボランティア参加をお待ちしています。

先日、市民協働課主催の「つむぎ場6」のことでした。会場に来院された当事者・家族から病院周辺の清掃・美化作業に「私たちは参加できないのか」との問い合わせがありました。とても有難い事と受け止めています。



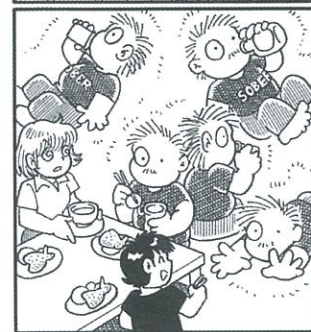
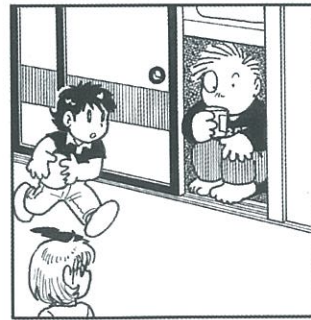
「ミュージックフェスティバル ～ハロウィンパーティー～」



今回で第3回目を迎え、恒例行事となりつつあるミュージックフェスティバル。今までは当院の作業療法とデイケア（以下、DC）を利用している方に出演していただいていたが、今年度はぶなの木工房の利用者さんやすずかけクリニックのDCメンバーさんにも可愛い仮装姿で出演していただき、更に華やかなパーティーとなり、年々バージョンアップしてきています。来場者も入りはありましたが、100名以上の方が聞きに来て下さり、最後には大合唱をして盛り上がりました。

次回以降も、出演者も来場者も仮装OK。なハロウィンパーティーとして続けていきたいと思いますので、是非仮装してきて下さい！

文責 百瀬 彩子（作業療法士）



カンタン簡単ヘルシーレシピ vol.17

～ あっさり食べれる簡単おかゆ！～
寒い日にあたたまる！胃腸にもやさしいおかゆ！

電子レンジでチンするだけ！

簡単おかゆ

＜1人分 168kcal＞

材料（1人分）

- ・ごはん60g
- ・水120ml
- ・塩少々

作り方

- ① ごはんを耐熱容器（タッパーなども可）に入れ、水を入れ、ふんわりとラップをする。
- ② 電子レンジの600Wで3分加熱し、5分くらい蒸らす。
- ③ お好みで塩を入れて味を調整する。
※ 塩のほかにも、お好みでかつおぶし、ほんだしを入れてもOK！

野菜と鶏肉のおかゆ

＜1人分 171kcal＞



材料（1人分）

- ・鶏もも肉30g
- ・冷凍野菜ミックス50g
- ・ごはん60g
- ・塩ひとつまみ
- ・サラダ油小さじ1杯
- ・水2カップ（300ml）

作り方

- ① 鍋に油を熱し、一口太に切った鶏肉を入れてさっと炒める。
- ② 冷凍野菜ミックスと水1カップを入れ、野菜がしんなりするまで煮る。
- ③ 残りの水とごはんを加えて、柔らかくなるまで煮込み、塩を加えて味を整える。



ワンポイント

1つの鍋で出来る、具沢山のなかゆです。
ミックス野菜を使うので、野菜を切る手間が省けてお手軽に出来ますよ！
管理栄養士 任 知淑

編集後記

こんにちは。風邪やインフルエンザが流行っていますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか？ 広報委員として初の仕事が今回のハーモネットでしたが、周りの委員の協力のおかげで無事に発行することができました。

まだまだ風が冷たいですが、皆さんが元気に過ごせますように。

広報委員会 菊地 南

患者さんの権利

- 人間としての尊厳が認められる権利
- 平等に医療を受けられる権利
- 十分な説明を受け、知る権利
- 医療を選択し、自己決定する権利
- 治療スタッフを知る権利
- 個人情報の秘密が厳守される権利

患者さんの責任

- 治療上のルールを守り、治療に参加する責任
- 治療上で必要な情報を提供する責任
- 医療費を支払う責任

編集・発行



神経科・精神科
医療法人 成精会

刈谷病院

〒448-0851 愛知県刈谷市神田町2-30
TEL(0566)21-3511 FAX(0566)21-3536

http://www.kariya-hp.or.jp

携帯HP http://www.kariya-hp.or.jp/i/

●JR東海道線刈谷駅南口下車 徒歩10分

